

高砂小だより

た …… 他を思いやる子
 か …… 体をきたえ、安全に過ごせる子
 す …… 進んで学び、深く考える子
 な …… 仲良く、最後までがんばる子
 【育成する子どもの目標】
 「豊かな心」 ～ 輝ける子ども ～

「2021年(令和3年)度 学校評価アンケート」について

学校評価についてご回答いただき、ありがとうございました。本校では、学校の様々な教育活動について、学校側の評価だけでなく、保護者や地域の方々からのご意見をいただくことを基本姿勢としております。お寄せいただいた回答を集計し、その結果やご意見につきましては、今後各種会議の資料とするとともに、今後の学校運営に生かしていきます。

なお、今年度におきましても、コロナ禍において児童の地域行事への参加や保護者の皆様が学校行事に参加していただく機会について、地域行事の中止や学校経営における目的達成のための授業参観や運動会等の十分な公開ができなかったため、質問項目からは省かせていただいております。

1. 集計・分析について

○回答対象者：本校教職員、5・6年生児童、本校保護者

○回答率：教職員・児童は全員
 保護者(410世帯/全460世帯中)⇒89%

○分析数値について ※①から③の数値を算出し分析の根拠とした。

①達成指数：(最高値10、最低値0)とする指数を算出

(例) C【学習全般への取組】「3. 学校での勉強はよくわかります」(2021年度児童)

1. そう思う	2. ほぼそう思う	3. あまり思わない	4. 思わない	5. どちらともいえない・よくわからない	回答児童人数合計
91人 5ポイント	60人 3ポイント	5人 -3ポイント	3人 -5ポイント	5人 0ポイント	164人

選択項目「5. どちらともいえない」を除いた各選択項目のポイント合計の平均を比較数値とし、その項目の達成指数とした。

$$(91 \times 5 + 60 \times 3 + 5 \times (-3) + 3 \times (-5)) \div (164 - 5) = 3.81$$

児童が「学校での勉強はよくわかります」の仮達成指数は 3.81

仮達成指数は-5以上5以下の数値のため、-5を0軸とするために換算
 達成指数 = 仮達成指数 + 5 = 3.81 + 5 と換算し、 **達成指数は 8.81**

②対象別達成率：達成指数を100%に換算 $(3.81 + 5) \div 10 \times 100 = 88.1$ **91.1%**

③学校達成率：児童・保護者・教職員の各対象別達成率の平均
 $(児童88.1 + 保護者84.0 + 教職員82.5) \div 3 = 84.86$ **84.9%**

【数値項目からの考察】

仮に、全員が「1. そう思う」を選択すると → 達成指数 10、学校達成率 100%
 全員が「2. ほぼそう思う」を選択すると → 達成指数 8、学校達成率 80%
 全員が「3. あまり思わない」を選択すると → 達成指数 2、学校達成率 20%
 全員が「4. 思わない」を選択すると → 達成指数 0、学校達成率 0%

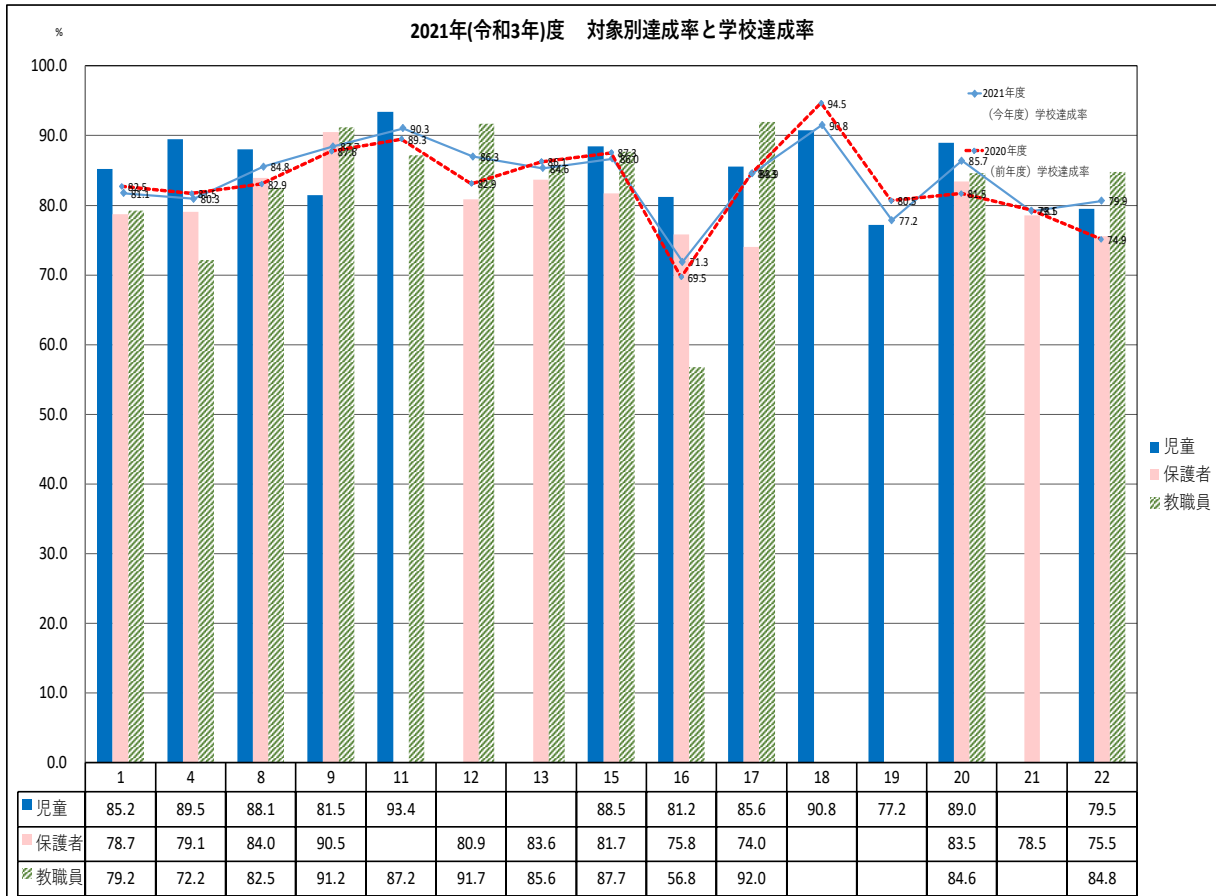
となるため、判断の一つの基準として、達成指数が7以下・学校達成率が70%以下の場合に、課題傾向にあると考え、改善に向けた検討をしました。

【資料について】

・総合資料：対象別達成率と学校達成率の一覧グラフ

※今年度の分析は、総合資料を中心にすすめ、その傾向について考察を行いました。
 また、前年度との比較ができるよう、前年度の学校達成率を加えました。

2021年(令和3年)度 学校評価アンケート 集計結果 <総合資料>



A【学校教育目標・方針・教育課程】	B【学習指導・授業改善】	C【学習全般への取組】	D【支援教育】	E【教職員の姿】	F【基本的な生活習慣】	G【児童理解・支援・未然防止(いじめ等)】	H【安全教育・安全管理・保護指導】	I【教育環境整備】	J【開かれた学校づくり・情報提供】
-------------------	--------------	-------------	---------	----------	-------------	-----------------------	-------------------	-----------	-------------------

	1	4	8	9	11	12	13	15	16	17	18	19	20	21	22	23
【児童】	学校の目標やきまりを知っています。	学校の行事は楽しいです。	学校での勉強はよく分かります。	学校に行くのは楽しいです。	委員会や係の仕事ががんばっています。			先生たちは、私たちの意見や考えを聞いてくれます。	先生や友だちやおはようボランティアの方などに自分からあいさつをしています。	こまったときに相談できる先生や友だちがいます。	休み時間は楽しいです。	給食を好き嫌いなく食べています。	きれいで過ごしやすい学校になるよう心がけています。		家族に、学校の様子をよく話していません。	地域の行事に参加し、地域活動・お祭りなどに参加しています。
【保護者】	学校は、教育目標や方針をわかりやすく伝えてくれる。	学校は、子どもの実態や保護者・地域の願いを踏まえた学校づくりを行っている。	学校は、楽しく分かりやすい授業をめざし、努めている。	子どもたちは、楽しく学校へ行っている。		学校は、児童一人ひとりを大切にしている。	学校は、子どもたちのことについて、保護者の相談に応じてくれる。	先生や友だちやおはようボランティアの方などに自分からあいさつができています。	学校は、いじめの防止に取り組んでいる。				学校は、子どもの安全や事故防止について取り組んでいる。	学校の施設や設備は、よく整っている。	学校は、保護者や地域へ学校の様子をよく教えている。	保護者は、学校行事や地域活動に参加している。
【教職員】	学校教育目標は、児童生徒の実態や保護者や地域の願いを踏まえた目標になっている。	児童の実態や保護者・地域の願いを踏まえ、特色ある教育課程の編成をし、教育活動を行っている。	学校は、指導方法を工夫し、授業改善に取り組んでいる。	本校児童は、楽しく学校生活を送っている。	児童会活動・委員会活動・児童の自主的活動の活性化に努めている。	児童一人ひとりを大切にしている。	外部相談機関との連携をとり、教育相談の充実を図っている。	生活指導上の問題の早期発見に努め、迅速に対応している。	本校児童は、教職員や友だち、保護者や地域の方々に自分から気持ちよく挨拶ができています。	学校は、いじめの早期発見や再発防止の取組みに努めている。			学校は、児童の安全確保のため、安全指導・施設点検などに取り組んでいる。		学校は、保護者や地域に学校の情報を発信したり、説明の場を設けたりしている。	学校以外活動を積極的に取り入れたり、校外での体験活動を行ったりしている。

2. 評価結果の分析（成果と課題）について

(1) 【「評価が高い」・「成果がある」と判断できること】

「児童と教職員がともに評価が高い」と判断できる項目

- No.11 児童「委員会や係の仕事をがんばっています。」 94.2%
教職員「児童会活動・委員会活動・児童の自主的活動の活性化に努めている。」 87.2%
- No.17 児童「こまったときに相談できる友だちがいます。」 85.6%
教職員「学校は、いじめの早期発見や再発防止の取り組みに努めている。」 92.0%
- No. 9 児童「学校に行くのは楽しいです。」 81.5%
教職員「本校児童は、楽しく学校生活を過ごしている。」 91.1%

* 児童理解・支援・未然防止（いじめ等）について

児童理解・支援については、年3回児童理解全体会を実施し、全職員が協力して支援にあたること、保護者の意見に謙虚に耳を傾けながら信頼・協力関係の確立に努めること、「いじめ」等の人権にかかわる問題については、毅然とした態度で指導・支援にあたることなどを確認しています。

いじめ防止に関しては、平成25年9月に「いじめ防止対策推進法」施行されたことを受け、平成26年2月に藤沢市において「市の基本方針」策定され、本校でも「いじめ防止対策基本方針」の策定を行いました。その後、国・県の基本方針が改定されたことを受け、藤沢市においても基本方針の改定がされました。今後については、本校の「学校いじめ防止基本方針」の改定を行い、令和4年度より運用をめざしているところです。

「すべての児童がいじめを行わず、ほかの児童に対して行われるいじめを認識しながら放置することが無いよう、いじめが心身に及ぼす影響その他いじめの問題に関する児童の理解を深めることを旨として、いじめ防止等のための対策を行う」とする基本姿勢は変わることなく、今後においても、いじめはどのクラスにも起こりえるものという認識に立ち、「いじめをしない、させない、許さない、見逃さない」環境づくりに努め、未然防止を第一の手段とし、組織的な早期発見早期対応にむけた教育活動の実践をまいります。

本校では、日々の学校生活における担任の児童観察や年3回実施する「学校生活アンケート」、保護者からの相談等により、いじめの「早期発見」「早期対応」にむけて取り組んできています。さらに、児童支援担当教諭を中心とした組織的な支援やスクールカウンセラーとの連携等を通じて、子どもたちの現状を把握しながら、きめ細かな支援に努めています。

また、児童の豊かな情操と道徳心を培い、心の通うコミュニケーション能力の素地を養うため、すべての教育活動を通じた道徳教育および体験活動等の充実を図るとともに、コロナ禍の情勢を踏まえながら、児童が自主的に行う交流活動（たてわり活動・集会活動）を支援し、よりよい人間関係を構築し健やかな成長を促す体制に努めています。

何よりも「未然防止」が重要であるととらえ、家庭や地域、関係機関との連携を大切に考え、いじめ防止等の対策を行ってまいります。

今後とも、生徒が充実感や達成感を味わえる学校づくり、心の通う人と人との関係づくり、地域で子供を見守る体制づくりなどの取り組みを進めていきたいと思っておりますので、ご理解・ご協力をお願いします。

「児童と保護者がともに評価が高い」と判断できる項目

- No. 8 児童「学校での勉強はよく分かります。」 88.1%
保護者「学校は、楽しく分かりやすい授業をめざし、努めている。」 84.0%
- No. 9 児童「学校に行くのは楽しいです。」 81.5%
保護者「子どもたちは、楽しく学校へ行っている。」 90.5%

児童の評価結果 ≪「成果がある」と判断できる項目≫

- No.11 「委員会や係の仕事をがんばっています。」 93.4%
- No.18 「休み時間は楽しいです。」 90.8%
- No.15 「先生たちは、私たちの意見や考えを聞いてくれます。」 88.5%

保護者の評価結果 ≪「成果がある」と判断できる項目≫

- No. 9 「子どもたちは、楽しく学校へ行っている。」 90.5%

(2) 【「今後の課題」と判断できること】

児童の評価結果 ≪「今後の課題」と判断できる項目≫

- No.19「給食を好き嫌いなく食べています。」 77.2%
- No.22「家族に、学校の様子をよく話しています。」 79.5%

保護者の評価結果 ≪「今後の課題」と判断できる項目≫

- No.17「学校は、いじめ防止に取り組んでいる。」 74.0%
- No.22「学校は、保護者や地域への学校の様子をよく教えている。」 75.5%
- No.16「子どもたちは、気持ちよいあいさつができています。」 75.8%

教職員の評価結果 ≪「今後の課題」と判断できる項目≫

- No.16「本校児童は、教職員や友だち、保護者、地域の方々に自分から気持ちのよい挨拶ができています。」 56.8%
- No.24「職員会議が機能し、教育活動全般に生かされている。」 66.1%
- No.4「児童の実態や保護者・地域の願いを踏まえ、特色ある教育課程の編成をし、教育活動を行っている」 72.2%
- No.10「学校は、国際理解、情報、環境、福祉、健康、人権など、今日的な課題を踏まえて教育活動を行っている。」 72.7%
- No.25「教職員は協働意識を持って、取り組んでいる。」 73.9%

* 基本的な生活習慣について

あいさつは、他者との関わりを通してお互いが良好で気持ちよい関係を育てて行くためのきっかけではないかと考えます。児童は81.2%の意識はありますので、地域や保護者の皆様にも子どもたちへの温かな声かけを継続していただき、本校の育成する子どもの目標「豊かな心」～輝ける子ども～の達成に向けた教育活動をこれからもしていきます。

今年度もコロナ禍の情勢を踏まえながら教育活動を行ってきましたが、6年生が国語の学習の一環として下級生との交流も行うことができました。

* 評価・評定の研究について

2020年度より新学習指導要領が全面実施となり、今年度は子どもたちの学びに視点をおいた評価評定についての研究を進めてきています。そのため、1学期に授業参観・懇談会を2回実施し、6月には保護者の皆様に子どもたちの学びと評価について、またそれに伴うあゆみの形式変更について、説明を行いました。さらに2学期は授業参観に代わり個人面談を通して、お子さまの学びとその様子等について担任よりお話いたしました。

(3) **新分析**：学校達成率の前年度比による今年度の達成状況について

前年度と比較して「評価が高い」・「成果がある」と判断できる項目

- No.20「きれいで過ごしやすい学校になるように心がけています。」 4.2ポイントアップ 85.7%←81.5%
- No.22「家族に、学校の様子をよく話しています。」 5.0ポイントアップ 79.9%←74.9%

* 『豊かな心～輝ける子ども～』をめざして

今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年、全校で実施していた運動会等の学校行事は行うことができませんでした。規模を縮小したり実施内容を精選しながら、子どもたち一人ひとりの意欲を育てながら、限られた取組の中での教育活動を行って参りました。

学校での教育活動の意義について教職員一同あらためて考え、子どもたちも人と関わりながら成長する喜びを感じたことと思います。

学校経営方針の柱として『愛情をもって子どもたちに接するチーム学校』、育成する子どもの目標として『豊かな心～輝ける子ども～』を掲げて、日々、高砂小学校での教育活動を行っています。学校便り『高砂だより』では、委員会活動や各学年の行事等、他の学年の保護者の皆様にも高砂小学校の子どもたちの活動をご理解いただけるよう、ご紹介しています。

学校は、子どもたち一人ひとりが集団の中で学びあい、支え合い、ともに成長していくために

教職員が一丸となって教育にあたる場であると考えます。

「児童・教師がともに学び続ける学校」「子どもが通いたい、保護者が通わせたい学校」「地域が誇れる学校」をめざす学校の姿として、保護者や地域に支えていただきながら、日々の教育活動を行いたいと考えます。

3. 今年度の教育活動における学校運営の現状

【1】おもな教育活動

(1) 外部講師の活用

- 1年：交通安全教室
- 2年：「いのちの授業」…（講師：神奈川動物愛護センター）
- 3年：リコーダー講習会、「火事から守る」（南消防署辻堂出張所消防士）
- 4年：パッカー車（環境センター）
- 5年：米作り、日産自動車リモート工場見学
- 6年：
全学年ほか：国際理解教室（1～4年）

(2) 校外学習（社会見学、体験活動等）

- 1年：校内探検、公園探検（学内）
- 2年：「町たんけん」…学区めぐり
辻堂市民センター見学
- 3年：「まちの様子」…町探検（北・東・南）
諏訪神社、辻堂教会、湘南工科大、辻堂海浜公園
「店ではたらく人と仕事」…マルエツなぎさモール辻堂店
「農家の仕事」…関根果樹園
「火事から守る」…南消防署辻堂出張所
「事故や事件からまちを守る」…藤沢警察署
「市の様子」…市内めぐり（片瀬漁港・藤沢市役所・少年の森）
- 4年：「地域を知ろう」…地域めぐり
「プラネタリウム見学」…湘南台文化センター
「砂像工作を楽しもう」…辻堂西海岸
- 5年：八ヶ岳野外体験教室
- 6年：日光修学旅行

(3) 遠足

- 1年：辻堂海浜公園、長久保公園
- 2年：長久保公園、新江ノ島水族館
- 3年：※校外学習を遠足的行事と兼ねる
- 4年：
- 5年：
- 6年：よみうりランド（お別れ遠足）

(4) 『豊かな心』～輝ける子ども～ の育成をめざして

- ・2年生の他学年交流：4年生：運動会後の感想交流
5年生：集会「エアドンジャンケン」
6年生：国語「話し合いのしかた」「グループ活動のしかた」

【2】学校重点目標達成にむけての取組

(1) 校内研究・研修による授業力の向上

①教職員間の連携 ～学年意識の向上と指導体制の充実～

行事に向けての意識づけや授業への取組において、オープンスペースにすぐに集まり学年職員が分担して児童に指導を行うことによって指導の効率化を図るとともに、児童一人ひとりが学年全体で共に学ぶ意識を高める指導体制の充実をめざしました。

②新学習指導要領全面实施における校内研究の実施

昨年度は、校内研究において観点別評価における「主体的に学習に取り組む態度」の育成を踏まえたその見取り方について研究を進めました。今年度については、特に「思考力・判断力・表現力」の見取り方について研究を進めることとしました。

7月には藤沢市教育委員会教育指導課の指導主事による計画訪問において全教員が研究授業を行い、学年ごとに担当指導主事より指導講評をいただきました。またコロナ禍のため、研究協議については、市役所と学校をオンラインでむすんだりリモート研究協議となりました。

③一人1台の学習端末の活用の推進（ICTを活用した本校の教育活動について）

夏休み直前に一人1台の学習端末が整備されましたが、8月にはコロナ禍における緊急事態宣言下となりました。そして2学期からの教育活動の見通しが持てず、いつ学級閉鎖となってもおかしくない緊迫した日々が続きました。そのため、9月に入り、児童が学習端末を自宅に持ち帰って活用ができるように児童に対してすぐに指導を行い、その体制を整えました。さらにオンライン配信による授業実施も想定し、日々の授業において積極的な活用を行いました。

(2) 保護者や地域との連携 ～開かれた学校づくりの推進～

今年度もコロナ禍が続く中ではありますが、感染防止対策を継続しながら、できる限りの開かれた学校づくりの推進を行いました。

例年通りに保護者の皆様に来校いただき、本校の教育活動をご理解いただくことはなかなかできませんでしたが、感染対策にご協力いただき感謝いたします。

①学校からの情報発信 …… 学校だより・学年だより・学級だより・学校ホームページ

②来校の機会を設ける …… 4月 授業参観・懇談会（「あゆみ」の形式変更の説明） ※学年一クラスずつで3日間に分散して実施

5月 個人面談（5日間）

11月 学年別運動会

12月 個人面談（学習状況について）

P T A 学年学級委員の計画による学年レク

③地域との連携協力 …… 外部人材の活用（体験学習等）

④P T A との連携

1) P T A 学年学級委員会計画による学年レク

1年生

2年生 スポーツイベント

3年生 ドッジボール大会

4年生

5年生 高砂ウォーク

6年生 日帰り校内キャンプ

2) P T A サークル活動への児童・教職員の参加

○ベルマーク運動・テトラパック回収：ヤドカリさん

(3) 校内支援体制の充実

児童支援担当教諭が学級担任との連携により配慮が必要な児童を把握し、学年全体へのフィードバックを意識した助言を重ねることで、時には他学級の担任が一時的にTT支援に加わる等、オープンな教室環境を活用し、学年全体で配慮が必要な児童への積極的な支援を行うことができた。

- ①登校渋りの児童への温かな声かけ
- ②いじめの未然防止（早期発見・早期対応）
- ③心のケア・教育相談

※スクールカウンセラー 毎週木曜日・隔週金曜日勤務

(4) 学校安全の充実

- ①**防災対策** 防災教室(慶応大・大木教授講師 10/22)
※5年生児童及び教職員対象に実施
地震、津波を想定した避難訓練(11/24 2・4・6年 11/25 1・3・5年)
火災を想定した避難訓練(4/26 2・3・6年 4/27 1・4・5年)
災害発生時における引き渡し訓練(11/22 1・2年)
防災週間で予告無しの訓練(1/27予告あり 2/7予告無し)
- ②**防犯対策** 防犯訓練(不審者訓練) 全児童対象
- ③**交通安全教室** 歩行指導(6/18 1年)
- ④**教職員による地区パトロール** 下校指導(1/24)
自宅確認(夏休み7/21~7/30)
- ⑤**PTA地域委員によるパトロール**(居住地区内の見守りとパトロール)
『危険箇所マップ、110番マップ』作成
春の交通安全キャンペーン(4/5, 4/6)
秋の交通安全キャンペーン(9/1, 9/2, 9/6, 9/13, 9/27)

【3】その他の教育環境等の充実

(1) 教育環境・教育活動の充実

- ①**コンピュータ利用**
・全児童に一人1台のタブレット端末

4. 働き方改革にむけた職員意識の向上について「Docchimo PJ」

・校務分掌の再編成等を教職員みんなで考えていきながら、より良い働く場を作っていきたいと職員一同で考えています。できることをできるところから大切にしていきたいです。

5. 学校関係者評価委員会の主なご意見（一部書面開催）

○今年度も全体的に学校達成率が安定しており、学校がこの1年間取り組んできた成果が現れていると感じます。今後の課題とすることについても継続して取り組んでいただきたいと思います。

○高砂小学校の子どもたちは生き生きと元気に過ごしていて、微笑ましく感じる場面ばかりです。あいさつについては、とても大切な日常の関わりですので、もちろん家庭において話をしていくこともしていきますが、いつも一緒にいて頂ける先生方から積極的なあいさつをしていただくことが、子どもたちに習慣づけさせる大きな存在であると感じています。どうぞよろしくお願いたします。

○コロナ禍での行事のあり方についても状況を考えながら実施をして頂いていると感じます。ただ、子どもたち同士の関わりを通した学びを大切にしたい学校行事として考えると、運動会については全学年（保護者なし）で実施することも検討して頂ければと思います。保護者の来校を考えて頂くことはうれしいことですが、学校でしか体験することのできない子どもたちの経験を大

切にしていくことが必要であると感じます。

○外部講師の授業や遠足、他学年の交流、PTAイベントなど、コロナ禍でもできる限りの活動を行っている様子を感じます。様々な体験を通した子どもたちの学びをこれからもお願いします。

○いじめ防止は、保護者からの評価が今年度もあまり高くない状況です。保護者からはその指導が見えにくいところもあるとは思いますが、取り組んでいないと感じている人も少なからずいるという事実を大切にしていってほしい。学校としてはいじめに対する「未然防止」「早期発見」についての取組を、引き続きしっかりと行ってほしいです。

○小学生は、放課後は公園など地域で遊ぶことが日常の様子であると思いますが、だからこそ地域での子どもたちの姿には、大人としての私たちが見守りを大切にする中で、声をかけていく関係づくりが必要であると感じます。

○ICT教育が推進され、子どもたちの学びにも一人1台の学習端末が当たり前の光景と思いますが、お互いの心のつながりはこれからも大切にしていってほしいと感じています。人権擁護員の取組の一つとして、子どもさんから届いたメッセージに一つ一つに返事を書くことをしています。その時に大切にしていることは、「自分が書いたメッセージの返事を受け取ったときに、そのお子さんが、それを読んでどのように感じているのか」を大切に考えながら、返事を書いています。伝えたい願いを汲んでいく想像力を持ち続けてほしいなと切に感じています。

○めざす子どもの姿として、「な」仲良く最後までがんばる子より、「あきらめない子」ということも大切なことの一つとして理解できますが、「自分の気持ちが言える子」も伝えていってほしいです。「つらいこと」や「かなしいこと」など、一人で我慢するのではなく、みんなで関わり合える関係が大切だと感じています。

6. 次年度の重点課題

- (1) ICTを活用した授業研究を行いながら、指導と評価の一体化に取り組み、校内研究・研修等を通して教員の指導力向上をめざし、指導法の工夫改善に努める。
- (2) 「新しい生活様式」に対応した教育活動を進めながら、その状況に応じた実践を行う。
 - ①授業・学校行事、たてわり活動等の工夫を通して、異年齢集団での交流を意識し、より良い人間関係の育成に努める。
 - ②児童が自ら考えて行動ができるような安全教育をめざし、校内安全組織を充実させ、災害対策も含めた学校事故防止に努める。
 - ③学校からの情報発信に努め、学校・家庭・地域の連携強化にむけた場の設定の工夫に努める。

7. おわりに

コロナ禍のため、第3回学校評議員会においては学校評価へのご意見等について伺うことができたが、保護者代表の方も加わっていただく学校関係者評価委員会については書面開催で実施し、この結果を報告いたしました。

全体を通して、おおむね肯定的な評価をいただきましたが、まだまだ不十分であるという評価項目も見受けられます。また評価方法等へのご意見もいただきました。検証を重ね、来年度の学校運営における課題を解決できるよう努めて参ります。